

7月1日

「じゅんさいの日」



さいちゃん



じゅんくん

今年で
じゅんくん
31才!!

じゅんくん・さいちゃんは
平成6年7月1日生まれ♪

三種町のじゅんさい

じゅんさいの栽培が盛んな山本地域は、白神山地から流れ込む水や、出羽丘陵から注ぐ伏流水といった豊富な水源と、美しい自然環境の中で質の高いじゅんさいを育んできました。

昭和10年頃から栽培が始まったじゅんさいは、昭和50年代頃から国の減反政策を機に栽培規模が拡大し、最盛期には年間1260tの生産量を誇りました。その後、生産量は年々減少して

います。町ではじゅんさいを振興していくため、産地強化に力を入れて取り組んでいます。

年度	生産量 (t)	販売額
昭和45年度	90	1200万円
昭和60年度	253	3億400万円
平成3年度	1,260	11億8800万円
平成13年度	658	5億2200万円
平成18年度	590	4億8700万円
平成23年度	482	5億2200万円
平成28年度	440	4億7600万円
令和3年度	207	2億4100万円
令和6年度	159	1億8500万円

※推計値

じゅんさいの日

じゅんさいは、6月を意味するJUNE(ジューン)「じゅん」と、31を語呂合わせして「さい」と読めることから、6月31日になります。しかし、6月31日は存在しない幻の日です。

そこで、6月30日の次の日ということで、7月1日を「じゅんさいの日」として、日本記念日協会が定められています。

じゅんさい給食

町では、7月1日のじゅんさいの日に合わせて、町内小・中学校で「じゅんさい給食」を実施しています。昨年度は、「じゅんさい汁」と「じゅんさいぶるぶるゼリ」が提供されました。



じゅんさい摘み採り体験

5月から摘み採り体験の受け入れが始まっています。三種町でしか味わえない貴重な体験をご堪能ください。

◆申し込み・問い合わせ先

観光情報センター(町観光協会)
☎ 88-8020



体験の申し込みは
コチラをご覧ください。



▲じゅんさいの花

じゅんさい JAPAN



じゅんさいに関する情報は、「じゅんさい JAPAN」のホームページをご覧ください。じゅんさいを使ったレシピなども掲載しています！